

20220928 河合町×畿央大学との締結について

1	連携に至った経緯	これまで本町の学校給食レシピについてのアドバイスをいただいたり、現在でも、学生が研修の一環で本町の給食調理について学びに来られたりと友好的な関係を築いている。 また、令和2年度からは町内空き家関連の支援、令和3年度からはまちづくり基本条例の策定に向けた支援や、本町の町制施行50周年事業にもあやかっ、大和の黒豆 KAWAI BLACK の特産品開発の支援さらに地域子ども達を対象に馬見丘陵公園などを舞台としたイベントも実施し、一気に相互の距離が縮まったことから、これまで以上に連携・協力し互いの魅力が向上する体制を整えた。
2	連携することで期待する効果	既に、まちづくりの観点から、町内佐味田地域の街並みの実地調査や、歴史文化財の観点から、庁舎敷地内の歴史的建物（旧豆山荘）についての研究など、動き出しているものもある。 さらに、多世代が交流できる憩いの休憩スペース創出のための仕掛けも提案いただいている。
3	今後の方向性	例えば、町内の様々な課題について毎年抽出し、学生がフィールドワークを通じて演習してもらえカリキュラムを組んでもらうなどを通して、これまでの取組みを単発に終わることなく、継続、発展的に展開していきたい。
4	連携協定の期間	期限を令和5年3月31日としているが、「まちづくり」などに関しては長期的な取組みになることから、双方から有効期間終了の意思表示がない限り1年更新する。
5	締結時期	締結前から様々な取組みを連携して行ってきたが、本格的に始動していくという意味で、大学の後期が始まる時期であること、10月に大和の黒豆 KAWAI BLACK の直売会、さらに10月末に大学とのコラボレーションイベントである、「竹馬クイズラリー」も実施することから、このタイミングでの締結を行った。